

平成25年度第1回豊田市廃棄物処理施設等審査会会議録

(1) 開催日時

平成26年3月13日午後1時30分

豊田市役所環境センター3階 廃棄物対策課会議室1

豊田市篠原町石田刈21番ほか 最終処分場変更設置場所

(2) 出席及び欠席した委員の氏名

出席：大東憲二（会長）、安田啓司（副会長）、山澤弘実、佐野泰之

欠席：市橋克哉

(3) 庶務を行うために出席した職員の職名及び氏名

環境部副部長 谷口彰一、廃棄物対策課長 市川智久、同課副課長 河合逸人、
同課施設・監視担当長 佐野明正、同課主査 春日部直樹

(4) 説明又は意見陳述のために出席した関係者の職名及び氏名

株式会社相建代表取締役 多田純二、同社専務取締役 荒賀剛志、同社環境事業
部長 生川正利、同社従業員 岩尾慶、福井事務所 福井鍾一、コスモ設計 塚本隆
敏（以上、現場のみ出席）

(5) 会議に付した案件

株式会社相建の産業廃棄物処理施設変更許可申請の概要について

(6) 議事の概要

以下のとおり

(7) その他

傍聴人5名

議事の概要

【事務局】

・過半数の委員が出席しているので、廃棄物処理施設等審査会設置運営要綱第6条
第2項の規定により、本日の審査会は有効に成立している。

・委員の互選により、会長の選任をお願いする。

- － 互選により大東委員が会長に選任され、大東会長の指名によって安田委員が副会長に選任 －

－ 傍聴人の入室 －

【大東会長】

- ・本日は、(株)相建から提出された安定型最終処分場の変更許可申請について、最初の審議となる。議題について、事務局に内容などの説明をお願いします。

－ 事務局の説明 －

【大東会長】

- ・説明について、意見や質問などがあればお願いします。

【山澤委員】

- ・環境影響の調査に関して、運搬車両の二酸化窒素（NO₂）、浮遊粒子状物質（SPM）は対象外との説明だった。理由はこれまでと変化がないからということだった。これまで、搬入車両による騒音、排気ガスについての周辺からの苦情の実績はあるか。

【事務局】

- ・搬入車両による騒音、排気ガスについての地元からの苦情はない。

【佐野委員】

- ・騒音の予測だが、どういう音源の配置にしているか。重機は移動するが、資料からではわからない。
- ・また、地盤のかさ上げをしていくが、どういう状況の時点での予測結果なのか。

【事務局】

- ・計測は重機1台が発生源から5メートル離れた騒音レベルを基に予測している。
- ・地盤は、一番かさ上げされる位置で4.5メートル上がる。しかし、予測結果は現況地盤を条件とし、かさ上げを反映した予測結果はない。

【大東会長】

- ・発生源の位置は図面でわかる。

【佐野委員】

- ・質問の意図としては、将来、民家から音源が見えるようになると騒音が大きくなることが懸念される。具体的な状況は、現場で確認したい。

【安田委員】

- ・変更前後で進入路の位置が変わる理由は何か。

【事務局】

- ・変更前の進入路の一部の筆に農地があり、農地転用許可を受けることが困難であるとの説明を受けている。

【安田委員】

- ・変更後の進入路の位置に問題はないか。

【事務局】

- ・問題ないとの説明を受けている。

【大東会長】

- ・道路の付け替えはどのタイミングで行うのか。

【事務局】

- ・変更後の図面は最終的なものであるが、工程の途中で変更すると思われる。後で事業者を確認する。

【大東会長】

- ・構造について確認したい。斜面の安定計算はしているのか。

【事務局】

- ・強度計算については、円弧すべり法での計算が挙げられるようだが、行っていないとの説明を受けている。
- ・変更前は1：1.8勾配だが、変更後は1：2勾配で緩やかする計画である。この勾配は豊田市産業廃棄物の適正な処理の促進等に関する条例の廃棄物処理施設の構造に関する基準を満たしている。

【大東会長】

- ・かなり緩い勾配とすることで安定を担保しているとのことだが、埋め立てる廃棄物の主体が廃プラスチックになると、すべりの原因になりかねない。廃プラスチックが入っていないから、すべりの計算をしなくてよいということか。

【事務局】

- ・そのとおりである。

【大東会長】

- ・本当は計算することが適切である。すぐ下に住宅などがあつたら計算することが適切と思う。現地をみて判断したい。

【山澤委員】

- ・粉じんについて確認したい。周辺の苦情はないそうだが、現状、散水はおこなっているのか。

【事務局】

- ・現状は確認していないが、維持管理計画には、粉じんが発生する場合は散水するとの記載があることは確認している。

【山澤委員】

- ・現地の気象観測した7日間の風は、そんなに弱くないが、強くもなかった。現状として強風の日にとどの程度の粉じんが発生しているのか情報を示してほしい。

【事務局】

- ・事業者を確認する。

【大東会長】

- ・構造に関して確認したい。表面からの雨水の浸透や斜面内の水位が上昇すると安定上マイナスになる。水抜きはどうする計画なのか。

【事務局】

- ・水抜き管は現在、設置されていない。変更後も設置の計画はない。

【安田委員】

- ・浸出水分析結果の生物化学的酸素要求量（BOD）について、基準値を下回ってはいるが、ばらつきがある理由は何か。つまり、有機物が上昇する理由は何か。廃棄物の内容からは推測しがたい。

【大東会長】

- ・木くずが埋められることはないか。

【事務局】

- ・木くずの埋め立てはされていないと思われる。事業者は埋立前に廃棄物を展開検査して内容を確認している。
- ・BODの分析結果のばらつきの理由については、事業者を確認する。

【大東会長】

- ・既存のかん止堤は、構造上一番力が加わる場所だが、改良しないのか。

【事務局】

- ・変更に伴い、作業工程を含め、検討中のようなのである。この後の現場視察の中で事

業者より説明を受けたい。

【山澤委員】

- ・搬入路の舗装はしないとのことだが、トラックに付着した泥についてはどう処理するのか。

【事務局】

- ・搬入路の出口に水が溜めてあり、そこでタイヤを洗っている。

【大東会長】

- ・以上、委員から出た意見は事務局でまとめ、事業者伝えてもらい、次回の審査会で事業者の報告内容と意見に対する考え方を事務局から報告するようお願いする。議事録の作成も事務局で行うようお願いする。事務局からその他の報告事項はあるか。

【事務局】

- ・次回の審査会については、5月中旬から6月ころを予定している。日程については、後日調整する。

- － 傍聴人退席。不開示情報の審議。審議事項無し。－
- － 現地に移動 －

【大東会長】

- ・直近の民家はここから見えないのか？

【関係者】

- ・直近の民家は山の斜面の下側にあるが、ここからは見えない。

【大東会長】

- ・下から上がってくる際、本日の大雨で濁水がみられた。大雨等で表面が流れるなどすることはあるか。
- ・調整池等については、どうなっているのか。

【関係者】

- ・濁水は平場になっている部分からであり、処分場からではない。場内の表面の流出はほとんどない。
- ・調整池は場内ではなく、下にある既存のものを利用する。

【安田委員】

- ・持ち込む廃棄物の大きさは決めているのか？

【関係者】

- ・締固めをする都合上、15cm以下のものとしている。

【事務局】

- ・斜面の強度計算を行う必要はないか。
- ・既存のかん止堤は改良しないのか。

【関係者】

- ・現場は近隣に民家が無く、広場も大きい。現状でも土砂の流出はない。現場での細かな流出や整形について常に維持管理の中で対応している。また、勾配も現状より緩くした。大地震等起こった場合でも民家の方へ崩れることはないと考えている。強度計算は考えてないが、これまでも安全を第一に考えて作業を進めており、今までの経験や土木の知識のなかで対応できるものと考えている。
- ・既存のかん止堤は、残土で埋まっているので、特別に手を加えることもない。

【大東会長】

- ・現場の締固めもよくできていると思う。現場を確認し、安定計算しなくても勾配や埋立物等から、安全が担保できていることが確認できた。あとは、作業中に何かあれば対応してほしい。
- ・斜面の安定上で気になったのは、中に水が溜まるかどうかである。排水用の水抜孔があってもよいのかとも思う。
- ・埋立前の搬入廃棄物中に、若干ではあるが、木くずが混じっていることが確認されたので、搬入廃棄物の分別を徹底してほしい。

【関係者】

- ・今後、かさ上げしていく過程で、地盤が安定しない等あれば検討し対応していきたい。